

# 有珠山

## 1 概況

火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

## 2 地震活動の状況

地震回数は 1 日あたり 0~3 回で平常時の状態で推移しました。震源はほとんどが山頂火口原直下の浅部(深さ 1km 前後)で発生しています。火山性微動は観測されませんでした。

月別地震回数(A点)

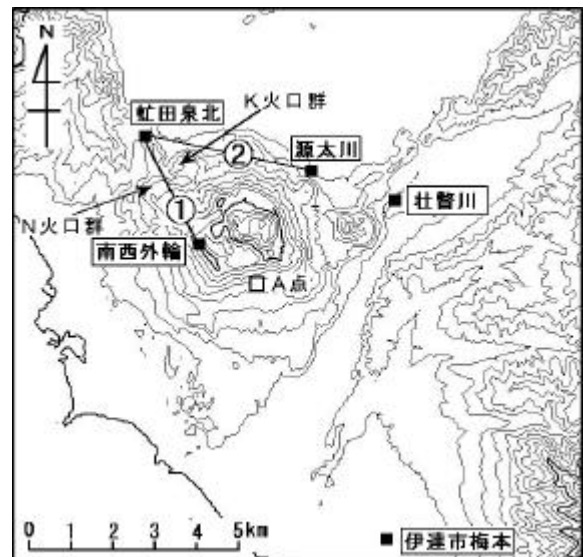
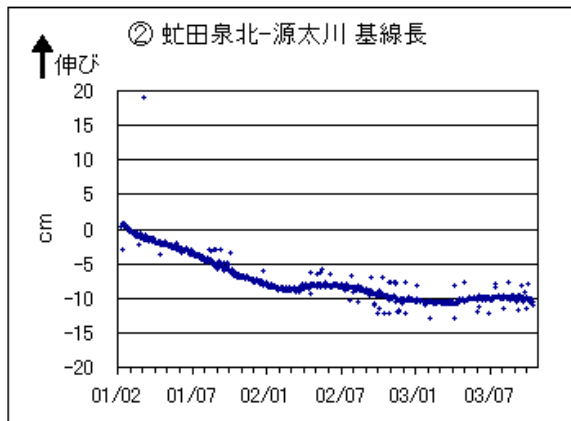
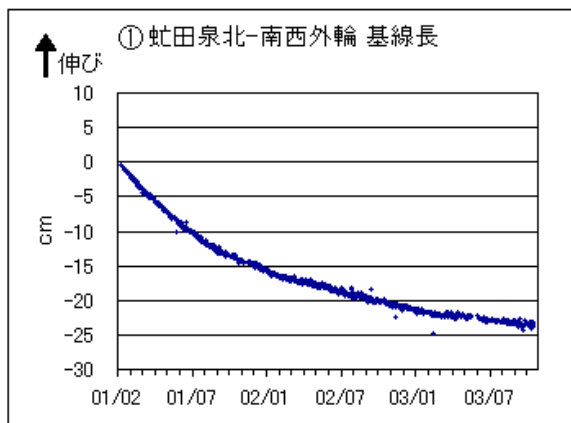
2002~2003年	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
地震回数	18	24	22	29	21	28	17	21	31	17	18	13
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 3 噴煙活動の状況

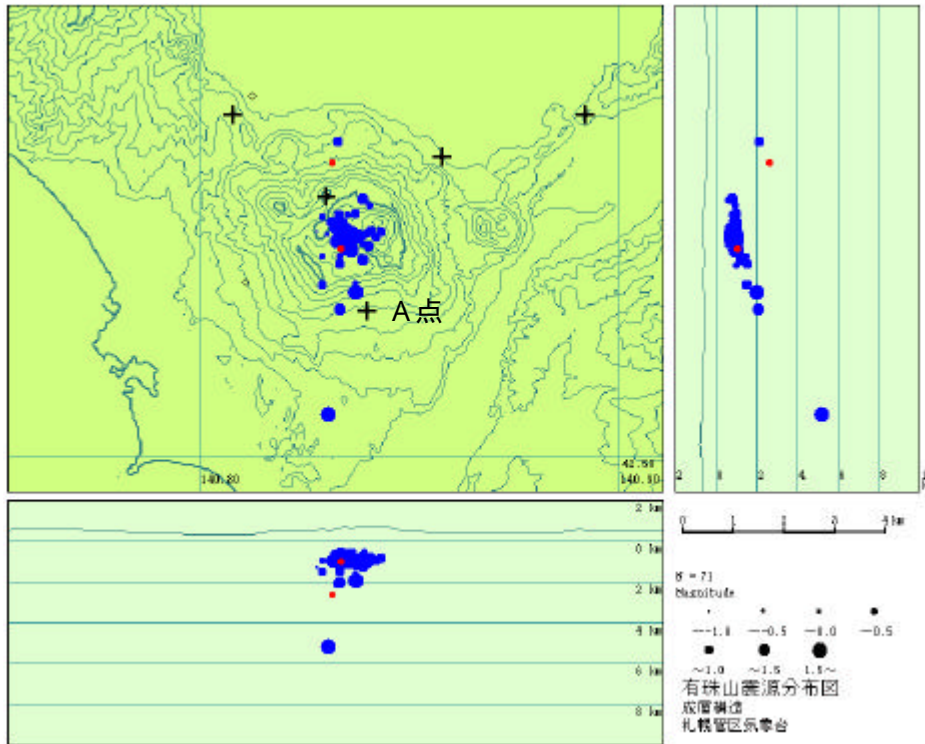
西山西麓(N)火口群のN-B火口では、概ね火口上 100m以下の弱い噴煙活動が続いています。その他の観測点でも特に異常な変化はありませんでした。

## 4 地殻変動の状況

西山西麓を中心とする収縮傾向は鈍化しながらも続いています。



有珠山基線長変化(2001年2月9日~2003年10月31日)



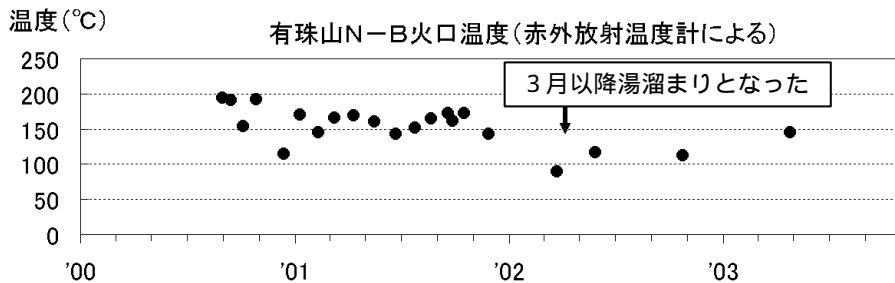
有珠山震源分布図

+ 印は地震観測点

震源表示 赤(今期間): 2003年10月1日~10月31日

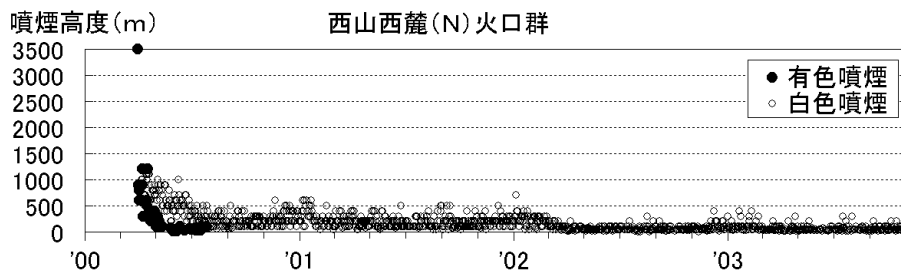
青(前期間): 2002年11月14日~2003年9月30日

2002年以降の震源はほとんどが山頂部直下の海拔下0~2kmに集中して分布しており、今期間の活動もこの領域内で発生しています。2000年の噴火活動期に見られた南西山麓の深さ4~6kmの地震活動は、ほぼ停止しています。



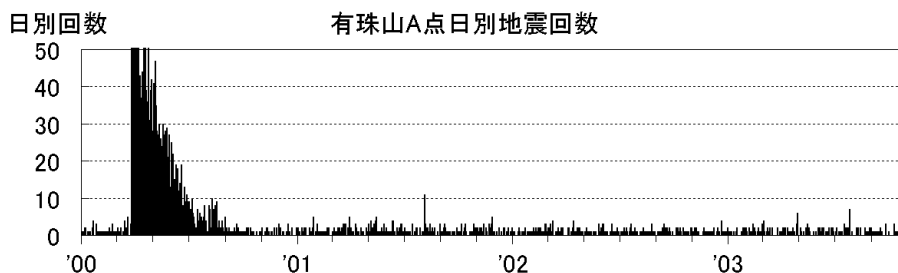
有珠山N-B火口温度(赤外放射温度計による)

3月以降湯溜まりとなった



西山西麓(N)火口群

● 有色噴煙  
○ 白色噴煙



有珠山A点日別地震回数

有珠山火山活動経過図(日別、2000年1月1日~2003年10月31日)